科目基礎情報 科目番形態 開設学科 開設期 教材 担当強 目標	専門学校	開講年度	平成30年度 (2	2018年度)	授美	科目	建築振動	 b学		
科目番号 授業形態 開設期 教材 担望達目標 ループリック 評価項目1 評価項目3 学習育方法 機業 急業計画 3rdQ 後期 そび類 4thQ				-					<del></del>	
授業形態 開設期 教科書/教材 担到達目標 ルーブリック 評価項目3 学学教育方法 接着 教要 授業の進め方・方法 注意業計画 3rdQ	0061			科目区分		専門 / 選択				
開設学科 開設期 教科書/教材 担当強目 一	授業			単位の種別と単位数		学修単位: 1				
開設期 教科書/教材 担当教員 到達目標 ループリック 評価項目1 評価項目3 学学教 概要 受学教 概要 登意業計画 3rdQ 後期	建築学科		対象学年		5					
教科書/教材 担当第員 到達目標 ループリック 評価項目1 評価項目3 学習育方 大選章 大選章 大選章 大学教概要 投業の進め方・方法 注意業計画 3rdQ	後期		週時間数		後期:1					
担当教員 到達目標 ルーブリック 評価項目1 評価項目3 学習・教育方 大選手 大選手 大選手 大選手 大変を はありである。 注意業計画 3rdQ 後期										
到達目標 ルーブリック 評価項目1 評価項目3 学習・教育方法 概要 授業の進め方・方法 注授 3rdQ 後期 4thQ モデルカリーキ	金田 一男		フントで配けずるの		0017 C	≥ MOCE	1// 00 10			
ルーブリック 評価項目1 評価項目2 評価項目3 学科の到達目標項目3 学習・教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意業計画 3rdQ 後期 4thQ モデルコファカリキ		<u> </u>								
評価項目1 評価項目2 評価項目3 学科の到達目標項 教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意業計画 3rdQ 後期 4thQ										
評価項目2 評価項目3 学科の到達目標項 学習・教育到達度目標 教育方法等 概要 受業の進め方・方法 主意栄計画 3rdQ  後期 4thQ モデルコアカリキ				1						
評価項目2 評価項目3 学科の到達目標項 学習・教育到達度目標 教育方法等 概要 受業の進め方・方法 主意栄計画 3rdQ  後期 4thQ モデルコアカリキ		理想的な到達レ	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		]安	
評価項目3 学科の到達目標項学習・教育到達度目標教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画 3rdQ 後期 4thQ		建築構造物の振振動系などを求	動理論を理解して なめることができる	建築構造物の振動理論を理解できる。		建築構造物の振動理論を理解しいない。		加理論を理解して		
学科の到達目標項学習・教育到達度目標教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意点 授業計画 3rdQ 後期 4thQ		て耐震診断がで		木質住宅の耐震診断方法を理解できる。			木質住宅の耐震診断方法を理解し ていない。			
学習・教育到達度目標教育方法等 概要 授業の進め方・方法 注意集計画 3rdQ 後期 4thQ	評価項目3 耐震技術・理解して、			技術・制震技術を めて説明できる。			耐震技術・免震技術・制震技術を 理解していない。			
教育方法等 概要 受業の進め方・方法 主意点 授業計画 3rdQ 後期 4thQ	目との関	係								
概要 受業の進め方・方法 主意点 授業計画 3rdQ 後期 4thQ	票 B-2								<u> </u>	
概要 受業の進め方・方法 主意点 授業計画 3rdQ 後期 4thQ										
授業の進め方・方法 注意点 授業計画 3rdQ  後期 4thQ モデルコアカリキ 分類	建筑技術			礎的が知識けなか	けかいキ	のである	木科ロブ	(士	記に関する其末的	
主意点 授業計画 3rdQ 参期 4thQ	は知識や	建築振動学に関する	  る一般的な理論を、	授業や演習により	理解させ	ることを	・ 本行して	いる。	に対する本本的	
受業計画 3rdQ  ### AthQ  ###	振動に関 木質住宅 サイトか	する理論についてはのモデルを作成して各自で調べたのである。	は授業形式で進める て実験する。耐震技 ち、プレゼンテーシ 術の発表により、総	が、木質住宅の耐 術・免震技術・制 ョンを作成・発表 会的に評価する	震診断に 震技術に する。 た	ついては ついては、 お、定期	寅習形式で グループ 試験、木質	ある。あ にわかれ 賃住宅のM	5わせて、簡易な 1て書籍やウェブ 対震診断、振動に	
受業計画 3rdQ  ### AthQ  ###			<u> </u>							
<ul><li>多期</li><li>4thQ</li><li>モデルコアカリキの類</li></ul>		021/07手口37月10歳(02)よく	0.数子の加帆で必安	<u> </u>						
送期 4thQ モデルコアカリキ 分類	Τ.	I			I					
送期 4thQ Eデルコアカリキ 分類	週	授業内容			週ごとの到達目標					
後期 4thQ Eデルコアカリキ 分類	1週	ガイダンスおよび	地震に関する概論		本科目の意義や進め方などについて理解できる。地の原因、地震の尺度、あるいは、余震など地震に関る概論を理解できる。			里解できる。地震 震など地震に関す		
後期 4thQ モデルコアカリキ	2週	木造建築物の耐震	診断1		ケント紙で作成した簡易モデルを利用して木質住宅 関する振動実験をするので、地震時における木質住 の揺れなどを理解できる。				用して木質住宅に こおける木質住宅	
後期 4thQ モデルコアカリキ	3週	木造建築物の耐震	診断2		木質住宅における耐震診断の意義やその方法につ 理解できる。木質住宅の耐震診断方法を理解でき				その方法について 去を理解できる。	
4thQ モデルコアカリキ 分類	4週	木造建築物の耐震	診断3		木質住宅の耐震診断方法を理			里解できる。		
4thQ モデルコアカリキ 分類	5週	木造建築物の耐震	診断4	木質住宅の耐震診断方法を理			 里解できる。			
4thQ モデルコアカリキ 分類	6週	木造建築物の耐震			木質住宅の耐震診断方法を理解できる。				 5。	
モデルコアカリキ 分類	7週	耐震技術・免震技 震技術1	対震技術・免震技術・制			耐震技術・免震技術・制震技術の各技術について、グ ループに分かれて調査することにより、建築学の分野 におけるそれらの技術の進歩を理解できる。得られた 情報をもとに、プレゼンテーションを作成できる。				
モデルコアカリキ 分類	8週	耐震技術・免震技 震技術2	震技術・免震技術・制 技術2			作成したプレゼンテーションを発表できる。				
モデルコアカリキ 分類	9週	1自由度系の振動	その振動1			振動理論の基礎的事項なども加えながら 1 自由度系 振動について理解できる。				
モデルコアカリキ 分類	10週	1 自由度系の振動	2		1 自由度系の振動について理解できる。			3.		
モデルコアカリキ 分類	11週	1自由度系の振動	1 自由度系の振動3			1 自由度系の振動について理解できる。				
モデルコアカリキ 分類	12週	多自由度系の振動	1		多自由度	8自由度系の振動について理解できる。				
分類	13週	多自由度系の振動	2		多自由度	系の振動	について理	ハて理解できる。		
分類	14週	多自由度系の振動	3		多自由度系の振動について理			 里解できる。		
分類	15週	期末試験								
分類	16週	テスト返却および								
分類					I					
				læ:				<b>-</b>		
専門的能力 分野別の 門工学	分野	学習内容	学習内容の到達目							
	D専 建築系	分野 構造	マグニチュードの概念と震度階について説明できる。 地震被害を受けた建物の破壊等の特徴について説明できる。			きる。	4	後1 後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後 7,後8,後 9,後11,後12,4 13,後14		
 評価割合			1						1/10-1	
			担方≕⊄	能由	<del>,</del> ₽° L	フォリナ	マの44		合計	
試験 公会証(無割合 FO		発表	相互評価	態度	_	フォリオ	その他		1	
総合評価割合     50       基礎的能力     0		0	0	0	40 0		0		0	

専門的能力	50	10	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0